

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	7 人	9 人	人	人	16 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用の 1 週間前までにアセスメントシートを作成する。(緊急時は除く)</li><li>・スタッフ会議、申し送りでの情報共有。可能ならば事前に見学やお試し利用をして頂き、利用者の状態を確認する。</li><li>・こまめな声かけを行って、利用者の状態を把握し、よりよい関係づくりをできるように心がける。</li><li>・利用開始後、ご家族との面談機会を設け、生活状況を十分に把握する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
概ね出来ている為、今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	12	4			16
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	8			16
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	12	4			16
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	10	1		16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
9 割のスタッフができていると評価。利用開始前にアセスメント表を作成し、前年よりもよりよく、スタッフ会議やミーティングで共有できている。 利用を開始してからは、本人の様子や状態を見て対応し、気づいた事などあれば、家族に電話連絡をしたり、遠距離や就労している方にはメールを送っている。送迎時に口頭でお伝えしたり、連絡帳を活用して、家族と利用者の様子を共有できている。 又、慣れていない時期にも訪問することから始め、信頼関係を築いてから通いや泊りのサービス利用につなげていく等、柔軟に取り組む事ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1 名のスタッフができていないと評価。一日の状況により、ゆっくり話を聞く時間がない等、十分な関わりができず、関係づくりに時間がかかることもある。 利用開始後にご家族との面談機会が十分に取ることができていないことがある。在宅での生活状況を把握するために時間も必要である。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・こまめな声かけを行って、利用者の状態を把握し、よりよい関係づくりをできるように心がける。</li><li>・利用開始後、1 か月くらいたち、慣れてきたころに、ご家族にオハナでの様子を見に来て頂くことを、契約時にお話していく。ご家族との面談機会を設け、生活状況を十分に把握する。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	13 人	1 人	人	16 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症の方に対しては、その理解を深めること。利用者の取る行動をよく観察し、表情や行動など細かな変化に気づき、誠実に対応するよう心がけ、自己実現に向けていく。</li><li>・コミュニケーションが取りづらい方にも、担当制を用い、聞き取りを行い個別支援につなげていく。</li><li>・ご家族からの情報も集め、ご家族の協力を得て、自己実現に向けた支援をする。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
概ね出来ている為、今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		11	4		※15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	13	1		※15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	13	1		※15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	9	3		※15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
8.5 割ができていると評価。ご本人の発した言葉をボードに貼り出し、見えるようにし、「～したい」の実現をすることが出来ている。認知症のある方には、表情や仕草の変化をスタッフ間で共有し、ケアプランを作成し、個々のケアプランを理解したうえで支援することで、自己実現の尊重をすることができている。 本人の希望に応じて新たな取り組みに対しても実行し、その様子をスタッフ間でミーティングやケース会議で共有し支援につなげている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1.5 割ができていないと評価。「～したい」を聞き、ボードに貼り出す事になっているが、書くことを忘れてしまい貼っていない事もある。重度認知症の方や、遠慮により本心を言わない方もおり、自分ではなかなか意思を伝えられない方もいるため、個々の目標や希望を十分に把握できないこともある。 時として、介護者の気持ちを優先する支援になってしまうこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症の方に対しては、その理解を深めること。利用者の取る行動をよく観察し、表情や行動など細かな変化に気づき、誠実に対応するよう心がけ、自己実現に向けていく。</li><li>・今後も、担当制を用い、聞き取りを行い、利用者の言葉をみえるようにして、個別支援につなげていく。</li><li>・ご家族からの情報も集め、ご家族の協力を得て、自己実現に向けた支援をする。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	9 人	1 人	人	16 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・残存能力を損なうような介助はしない。</li> <li>・本人の意欲を引き出すような支援を行う。活動（レク等）でポイントシステムを導入し、本人の意欲を引き出す。</li> <li>・安全確保をしながら、ADLの向上に努める。</li> <li>・ミーティングを通じて、支援の方向性を決めていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
概ね出来ている為、今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	7	3	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	8		1	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	4	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	9			16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	10			16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
8割ができていると評価。本人の気持ちや体調の変化に気づくことに努め、その状況の変化に合わせた食事、排泄、入浴等の基礎的な介護ができている。変化が起きた時には、一人に対応せず、複数のスタッフで共有に努め、ミーティングに反映し、日常生活の支援に努めている。	
自宅での様子については、家族から連絡帳や送迎時など情報を得て、状態変化に応じた支援をするよう努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
2割ができていると評価。以前の暮らし方（10個以上）についての把握が難しい為。	
安全を確保できないと判断した場合は、出来る事も介助してしまう場合もある。	
家族の希望による危険防止の為、本人の意思と反し、過剰な介護になることもある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・残存能力を損なうような介助はしない。</li> <li>・本人の意欲を引き出すような支援を行う。</li> <li>・安全確保をしながら、ADLの向上に努める。</li> <li>・ミーティングを通じて、支援の方向性を決めていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	10 人	1 人	人	※14 人

前回の改善計画	
・介護者の協力を得て、自宅での生活時間を確保する。 ・本人を交え、地域の人に会った際は挨拶をしっかり行い、関係作りをしていく。 ・配布物を介護者へ手渡しするなど、介護者との接点を増やし、自宅での様子や状態について聞き取りをする機会を増やしていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
概ね出来ている為、今後も継続していく。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	11	2	1	※15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	12	1		※15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		9	6		※15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	7	4	2	※15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
8割ができていると評価。本人から、家族からは地域の方とのつながりの話を聞く事で理解に努めている。 自宅で過ごす時間が少なかった方もサービスを調整することで、家族と関わる時間が増えた方もいる。独居の方などは民生委員さんや包括の方との情報交換を行うことができた。必要に応じて、地域支援事業につなげる方もいる。 地域の人に会った際に、挨拶をすることができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
2割ができていると評価。口数が少ない方など地域の人に関する話題がなく、話したがらない方もいる。本人が高齢になり、近所づきあいが減っている。 小規模多機能の利用状況として、介護者の状況により本人を家に一人にできない方、独居で自宅に一人で暮らすことに不安が強くなった方が利用するケースが多いため、通いや泊りのサービスの利用が多く、自宅や地域で暮らす時間が少なくなった方もいる。転入してきた方などは、地域の方々と関係を作るのは難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・介護者の協力を得て、自宅での生活時間を確保する。 ・配布物を介護者へ手渡しするなど、介護者との接点を増やし、地域でのつながりや状態について聞き取りをする機会を増やしていく事を継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	7 人	1 人	1 人	※15 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所内だけの意見でなく、家族・介護者からの意見・意向を踏まえて支援につなげる。</li><li>・地域包括支援センターや行政機関、医療機関、民生委員さん等へ相談を持ちかけ、支援の幅を広げる。</li><li>・介護保険外サービス、インフォーマルなサービスを活用する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
概ね出来ている為、今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	12	1		※15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	3		1	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	6	1		16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	9			16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
6割ができていると評価。事業所が関わっている時間においては、本人や介護者の状況変化を共有できている。直ぐに対応しなければいけない事も、迅速に対応できている。 介護者との連携を図り、状態変化の共有をし、ご家族の介護状況に応じて柔軟にサービス（通い、宿泊、訪問）を組み替える対応ができている。 訪問回数の増加、調整により細かなニーズに応じることが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
4割ができていると評価。1つの事業所でサービスが完結するため、他方面からの意見（見たこと、感じたことなど）が入ってこないため、支援の幅が狭くなる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所内だけの意見でなく、家族・介護者からの意見・意向を踏まえて支援につなげる。</li><li>・地域包括支援センターや行政機関、医療機関、民生委員さん等へ相談を持ちかけ、支援の幅を広げる。</li><li>・介護保険外サービス、インフォーマルなサービスを活用する。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	6 人	6 人	3 人	16 人

前回の改善計画
・行事の内容や日程を近隣の方々へ知らせ、参加して頂くようにする。 ・ボランティアの和を広げる。
前回の改善計画に対する取組み結果
ボランティアに来て下さる方が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	8	2	3	※15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	7	1	3	※15
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	7	2	3	※15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	2	8	3	※15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	4 割強ができていると評価。医療機関、訪問看護等、必要な連携を取り、本人の生活支援につなげている。 担当者会議を開催し、本人に必要な福祉用具の導入ができている。 地域の方が定期的に演奏会等のボランティア活動を継続していただいている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	3 割弱ができていないと評価。人の通りが少なく、立地条件が悪い。来訪者も道に迷うことが多い。 施設と関連の無い方からすると、閉鎖的に感じられているのではないか。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・行事の内容や日程を近隣の方々へ知らせ、参加して頂くようにする。 ・ボランティアの和を広げる。又、継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

7. 運営

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	8 人	人	人	16 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・会議やミーティングではスタッフ一人一人が発言しやすいように進めていく。</li><li>・ホームページを月 1 回更新し、空き状況や活動内容などをわかりやすくする。</li><li>・ユニフォームを作成し、地域へアピールする。</li><li>・事業所内の活動だけでなく、利用者の外出を支援する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
概ね出来ている為、今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	14	1		16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	11			16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	1	3	※15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		8	4	3	※15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	8割ができていると評価。運営推進会議やスタッフ会議において、スタッフの発言の場を設けると共に、利用者・家族からの意見を反映し、支援につなげている。苦情や意見についても、スタッフ全員で共有し、より良い対応ができるように心がけている。運営推進会議を2ヶ月に1回定期開催し、地域の方から意見を聞く事ができている。 良い事業所運営をしていくにあたり、本人・家族・介護者の声を聞いて、職場内での話し合いができている。 ユニフォームを作成し、職員の意識向上ができた。又、地域へアピールする事ができた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	2割ができていると評価。近隣や外に出る機会が少なく、近隣の方に周知されていない。 外部評価から自己評価に変わり、ご家族へのアンケートが無くなったことで、意見や苦情が届きにくい。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・引き続きホームページを月 1 回更新し、空き状況や活動内容などをわかりやすくする。</li><li>・市の広報誌を活用し、オハナの紹介をして頂けるよう、働きかけていく。</li><li>・来年、ご家族へのアンケートを実施予定とする。</li><li>・「オハナへ行こう週間」の日を作り、どなたでも気軽に来て頂けるようにする。(オハナ便りにてその日程を記載)</li><li>・事業所内の活動だけでなく、利用者の外出を支援する。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	10 人	2 人	人	※15 人

前回の改善計画	
	・研修の周知を行う。見やすい場所に掲示する。 ・スタッフの研修への参加意欲を上げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	概ね出来ている為、今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	10	2		16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	8	4	1	16
③	地域連絡会に参加していますか	4	5	2	5	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	10	1	1	※15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
7.5 割ができていると評価。法人、事業所内において、計画的に研修を開催し、定期的に参加している。研修後、その内容をスタッフ会議等で振り返り、スキルアップに努めている。 アクシデントとヒヤリハットに対し、一つ一つ状況を共有し再発防止策の協議を行い、連絡ノートを用い、全スタッフで共有している。スタッフ会議で振り返りをして、リスクマネジメントに取り組むことができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
2.5 割ができていると評価。研修案内が書類の山積みになって把握できていない 外部研修について、自由参加となっており出席することができていない。 勤務時間外での研修にほとんど参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・研修の周知を行う。見やすい場所に掲示する。 ・スタッフの研修への参加意欲を上げる。 ・カレンダーを用意・活用し、研修と研修申し込みの締切日を記載していく。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 23 日 (18 : 00～22 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 伊藤・杉山・石塚・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	12 人	人	人	※14 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援者側を優先しないように心がける。</li><li>・ 研修会に参加し、スタッフ一人一人が意識を高めていく。施設内研修で外部講師を招き、全員参加をする。</li><li>・ 事業所内ではケアや対応の仕方をスタッフ同士で確認しあっていく。</li><li>・ 介護者の様子にも気を配り、介護負担が大きくなり在宅での虐待につながるよう、適切な支援・サービス提供をする。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
概ね出来ている為、今後も継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	15	1			16
②	虐待は行われていない	14	2			16
③	プライバシーが守られている	8	7	1		16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4	1	4	※13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	7			※15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	8 割ができていると評価。身体拘束 0、虐待防止、プライバシー保護、個人情報の保護に意識を高めて、仕事することができる。 成年後見制度について、活用している人はいない。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	2 割ができていると評価。忙しい時など対応の仕方により、相手によっては不快な思いをさせてしまっている時がある。 利用者の前で他の利用者の情報を話してしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援者側を優先しないように心がける。</li><li>・ 事業所内ではケアや対応の仕方をスタッフ同士で確認しあっていく。</li><li>・ 介護者の様子にも気を配り、介護負担が大きくなり在宅での虐待につながるよう、適切な支援・サービス提供をする。</li></ul>